

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		生涯学習課	安田一司	藤浦美由姫
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
文化振興事業		新規	年度	年度
		○継続	○ H20以前	○ 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 地域文化・芸術文化の振興		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
多可町文化会館条例		○ ソフト事業	施設の維持管理	
多可町文化会館条例施行規則		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
地域文化の向上に寄与するため、住民ニーズを把握し、質の高い文化の提供のための検討を行いイベントを開催する。情報発信によるホールへの理解と集客に努める。		補助金の支給	有○無	
		委託	全部委託 ○ 一部委託	
			委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
文化会館を利用する町民、団体等	町民	町民が質の高い文化に触れる機会を設ける

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>										会計名	一般	会計		
細目名	文化振興事業				細目名	文化会館事業				細目名				
予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業
	10	5	8			10	5	9						

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト			21,475	18,402	19,159	
コスト の内訳	直接事業費	千円	9,664	9,729	10,065	
	所属内間接費		265	221	642	
	人件費		11,546	8,452	8,452	
	投入人員	正職員 嘱託員	人/年	1.43	1.03	
財源 内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		21,475	18,402	19,159	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 見込	22年度 目標
1	貸し館管理事務	受付管理をデータ処理	ホールの平均稼働日数	日	181	166	190
2	情報発信事務	広報紙、チラシ、HP等による情報提供	発行回数	回	50	55	60
3	イベント開催事務	写真展、公募美術展、文化祭、芸能祭、音楽祭を開催	開催回数	回	5	5	5
4	文化会館運営連絡協議会・評議員会事	定期的に会議を開催し、特色ある事業の開催を検討	会議開催回数	回	14	26	30
5	舞台操作管理	専門業者に委託管理	委託料	千円	4,725	4,725	4,725

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [文化振興事業]			備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 実績(見込)	22 年度 目標	
ホールの稼働率	%	75.1	76	76	
会館利用者数	人	23,712	22,000	25,000	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い	高くない		把握なし	不況に伴い営業販売等の貸館が減少傾向にあり、PRによる稼働率の向上が必要。		
		緊急性は	○ 高い	高くない					
		利用者・対象者数は		増加	減少	○ 横ばい			
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は		ない	ある	○ 把握なし			
	町の関与の 必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない	ある					
国や県の事業(サービス)との重複は		○ ない	ある						
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○ ある		改修工事に伴い、会館使用料等の見直しも考えてはいるが、社会情勢や環境の変化等において貸館減少を食い止めるためには難しい。		
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		ない	○ ある				
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は		ない	ある	○ 把握なし			
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	○ ない	ある					
		他の事業と統合できる可能性は	○ ない	ある		あるが困難			
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○ ない	ある		あるが困難			
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は		ない	○ ある			あるが困難	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		ない	○ ある		イベントの集約化によるコスト削減と効率化を図る。		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		受益者負担を見直す余地は		ない	○ ある				
	有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある	ない				地域文化の向上発展と町民の文化レベルアップを図るには個人で努力するだけでなく行政の支援により効果は上がる。
前年より成果が上がって			○ いる	いない		横ばい			
持続の 可能性		継続することによる効果は	○ 高い	高くない					
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて		いる	いない	○ 測定困難			
		事業の休・廃止による住民への影響は	○ 大きい	大きくない					
市場化の 可能性		既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり	○ 委託化は不可能		
		市場化テストの導入について検討する余地がある			○	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性			1.改善の余地はない			○	2.改善の余地がややある		
			3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要		

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>文化振興事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 一人でも多くの人が気軽に足を運べる施設のイメージ作りを行うためにロビーを開放し、貸し館事業へのPRに努め稼働率の向上を図る。また、これまでニッコール写真展を単独開催していたが、公募美術展と同時開催し集客を図りたい。さらに文化祭においてはこれまで3会場で開催していたが、ベルディーホール1か所で開催することにより、経費の節減と集客を図ることを事業主管担当である文化連盟に提案している。しかし、加美・八千代区の出品者が遠くなるということもあり、出品者数が減少することが懸念されるという文化連盟役員からの意見もある。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 文化会館を拠点に、住民の芸術文化活動の向上と芸術文化の関心を高め、心豊かな人づくりに努める。 文化祭については、特に加美区の文化連盟委員から、文化の拠点は地域であるとの強い信念から、早急の一本化は難しい状況だが、八千代区の出品状況が、減退しており、文化会館での一本化も近いと推察され、その状況を勘案しながら協議していきたい。									
所管評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 内容を見直し、より充実なものとして継続させたい。									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了			
評価委員コメント									
舞台操作を職員でやるのはどうか。(町行事や学校行事の場合) 体験学習として、3中学校ともベルディーホールでの文化祭の開催を検討していただきたい。									